

大地の芸術祭実行委員長コメント

本日、総合ディレクターの北川フラム氏と副実行委員長の桑原津南町長と私とで構成する実行委員会本部会議を開催し、第8回展となる「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ 2021」の開催を延期することを決定いたしました。

これまで、ポストコロナ時代に向けた新たな芸術祭として開催すべく、感染症対策や、作品の準備を進めてまいりました。しかしながら全国および新潟県内における新型コロナウイルスの蔓延状況や、3月23日から十日町市内においても急速に増加した感染状況などを鑑み慎重に検討した結果、市民および来場者、関係者の安全と安心を確保すること、そして感染の拡大を防止することが重要であると判断し、開催を延期することといたしました。

また、新型コロナウイルスに対しては、国内でも接種が始まったワクチンが安全に投与されており、近い未来において、安心を確保できることが見えてきました。このような状況下でありますので、芸術祭を延期したほうがより良い環境で実施ができるという思いでもあります。

延期後の会期につきましては、感染が収束へ向けた状況などを注視し、慎重かつ適切に判断してまいりますので、皆様方からのご理解を賜りますようお願いいたします。

芸術祭を楽しみにされている多くの皆様がより楽しんでいただけるよう、延期によるこの充電期間でしっかりと準備を進めてまいりますので、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願いいたします。

令和3年4月16日

大地の芸術祭実行委員長
十日町市長 関口 芳史